

下呂特別支援学校

PTA活動の紹介

活動方針

『家庭と学校が協力し、子どもの豊かな成長を育むPTA活動』

【具体的な目標】

☆PTA活動に積極的に参加しよう

- ・学校行事、委員会活動等に積極的に参加する。
- ・会員相互の交流を図る活動を実践する。

☆会員と学校との連携を図ろう

- ・学校行事などを活用して、会員と学校と地域との連携を図る。

3つの専門委員会

○進路・研修委員会

○環境整備・広報委員会

○厚生委員会

- ・下呂特別支援学校では会員数が少ないため、全世帯の保護者がいずれかの委員会に属しています。
- ・今年度は児童生徒数44名、42世帯の保護者で構成されています。

進路・研修 委員会

目的

- ・児童生徒の進路について、知識や見聞等を深めるために、施設見学や講演会等の研修を行う。
- ・進路研修を通して、保護者と学校との連携を強化し、保護者同士の交流を深める。
- ・卒業後の支援について学び、保護者も知識や理解を深め、子どもたちがよりスマートに地域の生活に溶け込むようにする。

○進路研修会を、年3回（7月・10月・1月）実施

・講演会（7月・1月）

☆企業や施設等から講師を招き、進路や就労に関する講演会を実施する。また保護者の悩みを聞いたり相談したりしながら解決への糸口を探る。

・事業所見学（10月）

☆保護者の見学希望を参考に、卒業生進路先や在校生実習先の企業や施設等を見学する。

進路・研修 委員会

過去3年間の取り組み

R4年度

7月：座談会（保護者同士のグループトーク・意見交換会）

1月：事業所の方を招いてのグループトーク

下呂市障がい者生活相談センター

ひだ障がい者就業・生活支援センターぷりずむ

「利用できるサービス・日々の生活の中での困りごと悩み、

また卒業までにつけておきたい力、就労後の支援などについて」



R5年度

7月：座談会（保護者同士のグループトーク・意見交換会）

1月：講演会

NPO法人かがやき たんぽぽファーム 理事長

「障がいがある子どもたちにとっての自立とは

～先輩母として伝えたい、子どもが30歳を過ぎて今、考えること～」



進路・研修 委員会

過去3年間の取り組み

R6年度

7月：出前講座「成年後見制度について」
下呂市成年後見支援センター



1月：講演会：「性教育について」
NPO法人・はぎわら「チーム生きる」

R7年度

7月：事業所説明会（全体説明・グループトーク）
「えくぼ」「マコト」「たんぽぽファーム」
「げんき」「ひだまりの家」
「益田山ゆり園」の6つの事業所が参加



1月：保護者のみなさまの座談会
～聞きたいこと、知りたいことをお話ししましょう～

環境整備・広報 委員会

目的

- ・ PTA活動の一環として2回の資源回収を位置付け、協力して取り組むことで PTA活動の活性化を図る。
- ・ PTA広報誌の発行を通して、児童生徒やPTA活動等について理解や協力の向上を図る。

○資源回収：年2回（7月・1月）実施

- ・ 環境整備活動では、地域の環境保全に力を入れる企業の協力を得て、年に2回の資源回収活動を実施している。



○広報の発行：年2回（7月・3月）実施

- ・ 広報活動では、年に2回、PTA会報「森のなかま」を発行し、保護者の意見を載せたり、行事や学校での様子を紹介したりしている。

厚生委員会

目的

- ・保護者と学校との連携を強化し、子どもたちの教育環境の充実を図る。
- ・活動を通して、保護者同士の交流を深める。



○ベルマーク集計作業：年2回（7月・1月）実施

- ・集計作業は厚生委員だけでなく、PTA全体で取り組むようにしている。

○ベルマーク回収：隔月（ベルマーク回収袋の配布）

- ・寄付で頂いたベルマークについては各家庭に持ち帰り、仕分け作業を行ったりと工夫をしながら活動している。

PTA会費

800円×10ヶ月

- 保険の加入・賠償責任補償
- 部活動等支援費：湯ヶ峰太鼓・陸上競技会
- 卒業記念品・卒業証書ホルダー
- 会報発行費：会報「森のなかま」を年2回発行
- 防災対策費：非常災害時の飲料水を保存
- 進路研修会諸費用